

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。

ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。

⚠ 注意

- 組立および設置時の注意



禁止

組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。
→ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。



禁止

直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。
→変形、変質、退色の原因となります。



必ず守る

回転いすは組立完成後に脚ベース、座高調節シリンダー、座板がしっかりと固定されているか必ず確認してください。
→固定が不十分なままですと、イスを持ち上げた時に脱落してけがや破損する恐れがあります。

HyBrid Chair

ハイブリッドチェア

【品番】

●CDC-925 PR

●CDC-926 LB

●CDC-927 BKNB

●CDC-928 BKDG

各部の名称

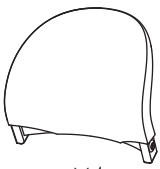
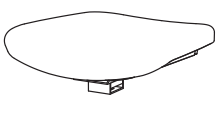
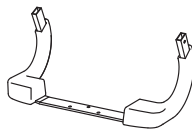

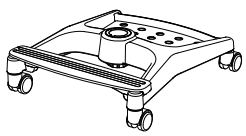



イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。

付属品について

※開梱後、以下のパーツ・組立部品が入っているか確認してください。

■ パーツ・組立部品

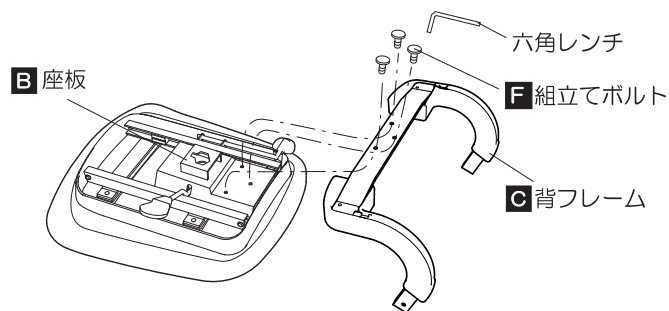
A 背板	B 座板	C 背フレーム	D 座高調節シリンダー
 <p>×1</p>	 <p>×1</p>	 <p>×1</p>	 <p>×1</p>
E 脚ベース		F 組立ボルト	
 <p>×1</p>		<p>六角レンチ付属</p>  <p>×5</p>	

組立方法

1. 座板と背フレームの組み立て

B座板に**C**背フレームを取り付け、付属の六角レンチを使って**F**組立てボルト(3本)で固定してください。

① 組立てボルトには緩み防止加工をしていますので、締め付けの際に力がかかる場合がありますが、最後までしっかりと締め付けてください。

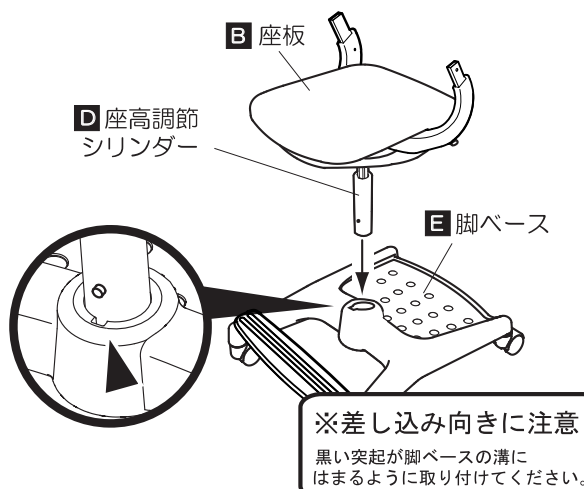
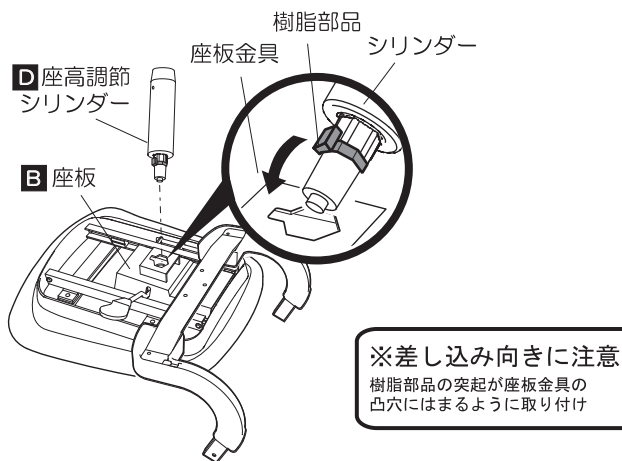


2. 座板、シリンダー、脚ベースの組み立て

シリンダーに取り付けられている樹脂部品の向きに注意しながら**D**座高調節シリンダーの上部(細い方)を**B**座板に確実に挿入してください。

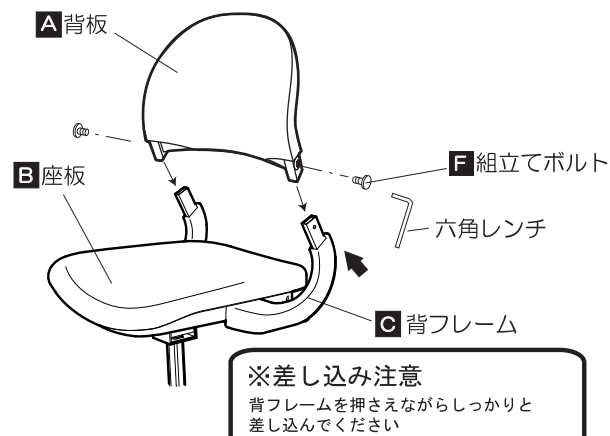
座板を反転させ、シリンダーを**G**脚ベースに差し込んでください。

① 座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、脚、シリンダー及び、座をしっかりと固定してください
→座板がはずれて、けが、破損の原因になります。



3. 背板と背フレームの組み立て

C背フレームの先端に**A**背板を差し込み、付属の六角レンチを使って**F**組立てボルト(2本)で固定してください。

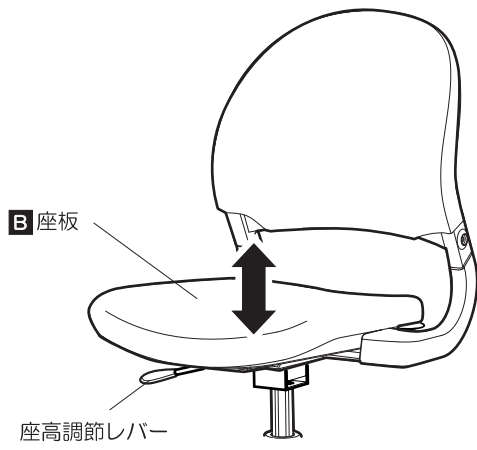


使用方法

《座板の高さ調整のしかた》

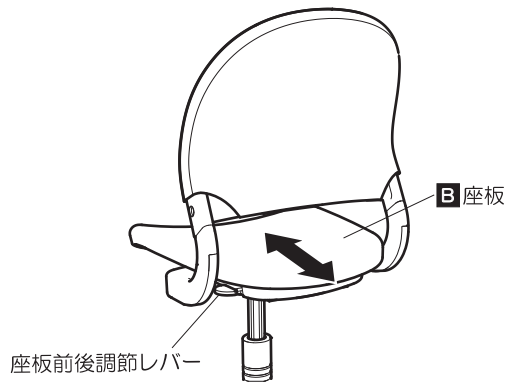
座ったまま座高調節レバーを持ち上げると座はさがり（※体重によってはこの限りではありません）、腰をうかせて座高調節レバーを持ち上げると座はあがります。適切な位置でレバーを離すと座高が決まります。

⊙ 座の上に立たないでください。
→ 倒れてけがをする原因になります。



《座板の前後調節のしかた》

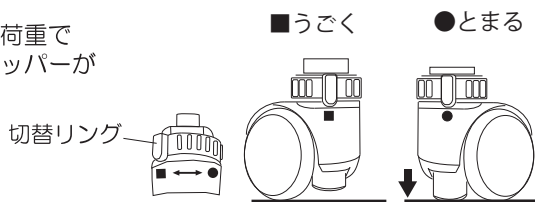
座板前後調節レバーを持ち上げた状態で座板を前後に動かし座板の位置を調節します。お子様の成長に合わせて適切な位置に調節し、使用してください。



《ストッパー切替レバー付キャスターについて》

切替リングを回しレバー先を■側に合わせますと、ストッパーが掛からず車輪が回転します。

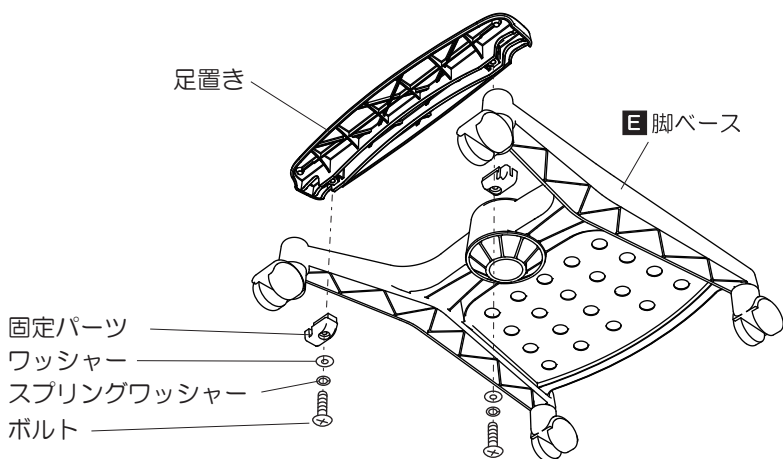
レバー先を●側に合わせますと、荷重でキャスターの軸が沈み込んでストッパーが掛かり車輪の回転が止まります。



⊙ 着座している状態でリングを回さないでください→指をつめてケガをする原因になります。
○ お子様の足が床に着かない間は、ストッパーが掛かる状態での使用をお勧めします。その際、安全のため全てのキャスターのストッパーが掛かる状態でご使用ください。
○ 体重が軽い場合、車輪の回転止めが作動しない場合があります。

《足置きのはずし方》

足置きの裏側にある2か所のボルトを緩めて取り外すと足置きを取り外すことができます。



足置きをはずすと、足置きの内側から固定用のナットが抜け落ちてきます。（左右合計2個）一度はずすと取付けにくいナットですので注意してください。